

C I Aフォーラムは、C I A資格保持者の研鑽及び相互交流を目的に活動する、一般社団法人日本内部監査協会（I I A - J A P A N）の特別研究会である。各研究会は、担当の座長が責任をもって自主的に運営し、研究期間、目標成果を設定し、研究成果を発信している。

当研究報告書は、C I Aフォーラム研究会No. e24が、その活動成果としてとりまとめたものである。報告書に記載された意見やコメントは、研究会の「見解」であり協会の見解を代表するものではなく、協会がこれを保証・賛成・推奨等するものでもない。



**CIA FORUM E24** IMPROVE INTERNALAUDIT  
OUTPUTS

---

20XX年XX月XX日 監査部

# 20XX年度 〇〇業務監査計画書

監査対象部 XX株式会社

---



**CIA FORUM E24**  
IMPROVE  
INTERNALAUDIT  
OUTPUTS



## 今回監査計画概要

### 監査を行う理由

4年に一度全社業務の監査を行う業務監査の一つとして4年ぶりに確認。  
また経営要請として、次年度参入予定の受入業務に耐えられるか、事前確認を行う。  
前回評価は監査項目達成88%も個人情報漏洩懸念が発見されたことから「C」評価となった。  
前回監査の懸念が払拭されていることの確認の他、新法的基準の遵守状況を確認予定。

### 評点予定

# ABC

監査項目達成度評価予定

100-85%=A:良好

84-70%=B:課題有

70%未満=C:改善要

### 想定される重要なリスク視点

1. 入退室管理状況 : 法的基準が強化されたことから適切な対策が行われているか確認
2. 個人情報取扱状況 : 前回監査 (XXXX年XX月) にて、漏洩懸念確認。今回対策が機能しているか確認

### 監査対象業務に対する主な考慮事項

1. XX業務受入参入 : XXXX年より参入予定のXX業務受入のため準備を行っているが、課題がないか確認



## 前回監査結果報告概要 (XXXX年XX月)

### 総評

業務遂行上において、至急対応が必要な改善事項が1件発見され、至急改善提案を行った。このため、監査項目評価結果は88%であるが、評価結果はランクを下げ「C」評価となった。監査全体では、管理体制面において、一部改善を要すると判断される事項が確認されたため、合計2項目（リスクレベル「H」1項目、「L」1項目）の改善提案を実施。については、十分な協議・検討のうえ計画的な推進を図りたい。

### 評価結果

**C** (改善要)

項目評価結果44/50=88%  
100-85%=A:良好  
84-70%=B:課題有  
70%未満=C:改善要

### 至急対応が必要な改善事項

1. 個人情報漏洩懸念への対応と恒久的防止対策 (H)：個人情報漏洩につながるシステム利用が発見。早期対策が必要。

### 至急対応分を除く監査指摘事項 (リスクレベルM以上抜粋)

M以上は他にはみられなかった。

---

# 監査対象業務の状況（トピックと課題）



## 1. 監査対象業務の状況

### (1) 監査対象業務・部署の主なトピック

今年度は、「会社法改正」「△△業務の全面外注化」の大型案件の取組みが推進される他、「○○業務」の拡大に向け、グループ各社を中心に20社の受注を想定した業務の拡大を目標とした推進が行われている。また、2年後に実施予定とされている大阪・東京2本社化を見据えて、雇用拡大と業務効率化が推進されており、特にRPA等活用による業務のデジタル化推進が行われている。

### 現在対応中の課題

#### 1.XX業務への参入

XXXX年より新規参入予定であるXX業務について、XXXX年より準備を実施。主にXXXX対応について、人員をXX名（XXXX年対比XX%）増。また、システム対応を推進中であり、現在検証期間中。

---

# 監査確認予定項目（監査視点別・リスク別）



## 2. 確認予定の監査視点

確認視点については、通常業務監査で行う4視点を前提とし、今回特に除外する項目はない。

### 管理体制面

業務の管理体制、組織の管理体制など、統制状況を確認する。  
主なリスク：不正リスク、人事労務リスク、法務当局リスク、企業統治リスク

### 業務・事務 処理面

業務・事務の実施結果と実施内容、実施する際の阻害要因などについて確認する。  
主なリスク：顧客情報・商品・業務執行リスク、業務戦略・財務リスク

### システム面

業務に使用するシステム環境とその統制について確認する。  
主なリスク：事業継続・情報安全リスク、業務・商品・システム変更リスク、

### インフラ面

業務を行うために必要な各種インフラについて確認する。  
主なリスク：災害対策リスク、事務・経営情報管理・ベンダーリスク





### 3. リスク要因別の監査確認予定項目

リスク視点については、通常業務監査で行う10視点を前提とし、今回特に除外する項目はない。

#### 不正リスク

- (1)アクセス権限管理状況
- (2)第三者によるチェック機能

#### 法務当局リスク

- (1)法令・遵守体制の整備状況

#### 人事労務リスク

- (1)研修体制整備状況
- (2)労務管理状況

#### 業務戦略・財務 リスク

- (1)他部署との役割分担・責任体制

#### 顧客情報・商品・ 業務執行リスク

- (1)組織体制整備状況
- (2)未処理・積滞業務の有無

#### 業務・商品・シス テム変更リスク

- (1)施策及び体制改定管理状況

#### 災害対策リスク

- (1)BCP対策

#### 事業継続・情報安 全リスク

- (1)システム管理状況

#### 企業統治リスク

- (1)所管事項及び職務権限

#### 事務・経営情報管 理・ベンダーリスク

- (1)コンティンジェンシープラン及びルール・マニュアル整備状況
- (2)案件の部内管理体制、及び社内連携体制

---

# 監查前提事項



## 前提事項 1. 監査の範囲・視点と監査方法

### 監査範囲

〇〇業務に係る事項。

なお、定例監査の対象として確認を別途実施している以下業務については、対象外とする。

<対象外> △△業務、AA業務

### 監査視点

・業務監査時の通常確認視点である以下4点について確認を行う。

①管理体制面 ②業務・事務処理面 ③システム面 ④インフラ面

・今回対象業務のリスクは、20XX年度社内リスクアペタイト方針より以下が対象。

(1)不正リスク(2)人事労務リスク(3)顧客情報・商品・業務執行リスク(4)災害対策リスク  
(5)事業継続・情報安全管理リスク(6)事務・経営情報管理・ベンダーリスク(7)法務・当局リスク  
(8)業務戦略・財務リスク(9)業務・商品・システム変更リスク(10)企業統治リスク

### 監査方法

- (1) 個人情報取扱を含むリスク管理体制全般に亘り、法令・ガイドライン及び当社の規定・ルール等に沿って検証するチェック項目を作成し、監査対象部の部長・課長に自己点検を依頼。
- (2) 上記チェック項目の回答結果や業務状況に対するヒアリングと、各種資料等の確認により、リスク管理状況並びにリスクコントロール状況を検証。



## 前提事項 2. 監査対象部署の概況

### 概要

XXXX株式会社（以下XXXX）は、19XX年設立。〇〇株式会社（以下当社）の100%出資連結子会社、当初大阪にて運用が行われていたが、20XX年より、東京へ移転。併せて事務センターを設立した。設立当初は、〇〇業務を主な業務としており、製造業務も主に自社内のラインにて行っていたが、現在は外部受注による△△業務を主に実施。売上高の70%が△△業務によるものとなっている。20XX年X月時点での体制は5部署。人員は社長以下150名（含派遣・パート）

### 組織体制

組織	役割	人員数
役員	〇〇社長、〇〇専務、〇〇常務	3名
経営企画部	企画・人事・新規業務・計数	12名
総務部	総務・庶務・経理	(兼務)
業務第一部	〇〇業務	55名
業務第二部	××業務	40名
業務第三部	△△業務	40名



### 前提事項3. 監査の要項

監査対象業務

〇〇業務

監査対象部門

××株式会社

監査期間

20XX年XX月～20XX年XX月

監査基準日

20XX年XX月XX日（往査日）

監査担当者

主任：〇〇 〇〇 代行：〇〇 〇〇 担当：〇〇 〇〇

監査目的

〇〇業務及び付随する業務について、その業務プロセス全般にわたり、個人情報取扱状況も含めたリスク管理体制、及びリスクコントロール状況について、その適切性を検証する。



CIA FORUM E24

IMPROVE INTERNAL AUDIT  
OUTPUTS

---

## お問合せ先

---

・ 監査部部长：○○ ○○  
(内線 XXXX)

・ 主任：監査部（東京）○○ ○○  
(内線 XXXX)



CIA FORUM E24

IMPROVE  
INTERNAL AUDIT  
OUTPUTS